

THE ROTARY CLUB OF TOTTORI NORTH

鳥取北ロータリークラブ 2019 2020



国際ロータリーのテーマ

会長……小林 弘尚 副会長……宮崎 正彦 幹事……松本 啓介
 会計……入江 容子 SAA……千金 周一 活動記録担当リーダー……森下 泰年

Rotary 

例会場：ホテルモナーク鳥取 例会日：火曜日12:30～13:30

Tel.24-3536 Fax.29-6741

■創立：昭和36年2月23日 ■事務所：鳥取市扇町22-1 山陰合同銀行鳥取駅南ビル

E-mail kitarc@infosakyu.ne.jp http://www.infosakyu.ne.jp/kitarc/

今週の例会	2019年9月24日(火)	第2844回
	◆ロータリーソング	◆委員会事項
	鳥取北RCの歌	入会記念日御祝
	◆献立	◆卓話
	100万ドルミール	「天橋立」野田英明さん

次週の例会	2019年10月1日(火)	第2845回
	◆君が代・奉仕の理想	◆卓話
	◆献立 和食	「キャッシュレス社会へ」
	◆委員会事項	秦野諭示さん
	誕生日御祝	※例会終了後、定例理事会「梨花の間」

前回の例会

2019年9月10日(火)

会長挨拶

中秋の名月とは、太陰暦8月15日に観る月のことです(満月は1日後)。太陰暦は月の満ち欠けの周期を基にした暦です。太陰暦では、1月～3月を春、4月～6月を夏、7月～9月を秋、10月～12月を冬と定めています。

中秋とは秋の真ん中8月を指しています。元々この時期に月をめぐる習慣は、中国の中秋節に由来するものです。中秋節とは、秋の収穫に感謝し、家族友人を招き、月餅を食べてお祝いする大切な

行事です。平安時代に、この習慣が日本に伝来し、江戸時代に、秋の収穫に感謝に感謝する行事に変化したものです。

日月の出が50分ずつ遅くなる為、月の名称として、16日＝十六夜 17日＝立待、18日＝居待、19日＝寝待等のロマンチックな呼び方があります。

月は地球から38万4,400kmの位置にあり、地球唯一の衛星で、太陽系衛星では5番目に大きい。また、かぐや姫、「うさぎ」が何故月にいるのか等のおとぎ話の舞台に登場します。

幹事報告

1. 到着文書 なし
2. 例会変更・メーキャップ情報

クラブ名	日にち・受付会場	
倉吉RC	10.22(火)	倉信うつぶき支店
	12.24(火)	
米子RC	12.20(金)	ANAクラウンプラザホテル米子
米子東RC	9.25(水)	ANAクラウンプラザホテル米子
米子中央RC	9.26(木)	ANAクラウンプラザホテル米子
	10.31(木)	
米子南RC	9.30(月)	ANAクラウンプラザホテル米子

3. 報告事項

(1)先週の理事会の報告として

- ・ホテルモナーク鳥取の支配人である本多 崇ほんだ たかしさんの入会が承認され、10月1日から入会予定
- ・クラブ運営委員会(高知北訪問の日程)・地域奉仕委員会(アクトの件)・国際奉仕委員会(国際交流プラザの件)の報告

- ・IDM開催の件 10月前後に各委員会で開催予定
- ・里山整備事業の件 11月に鹿野の小学生と行うため準備中

(2)元名誉会員の石尾博久さんが亡くなりました。白兔設計事務所の顧問で鳥取県建築士協会の名誉会長をされていました。

・9/17 休会

委員会報告

◎出席率報告

9月10日 会員46名中 欠席8名 82.61%
8月27日 補正後 欠席9名 80.43%

◎B級グルメ福田委員長より、今夜18時30分からです。宜しくお願い致します。

◎ゴルフ同好会白岩幹事より、10/6(日)第3回小林会長杯、11/17(日)東部5RCゴルフ大会。

メーキャップ

9/3クラブ運営委員会 IDM

山田雅文さん 霜村哲男さん 足立日出男さん

笹野眞紀さん 水野治郎さん 宮崎正彦さん
齊藤 敦さん 福田 収さん 田村博信さん
塚田 隆さん

9/8 米山研修会 田村文男さん

9/8 山陰ジオパーク一斉清掃

梅田清志さん 大谷芳徳さん 小林弘尚さん
田中和夫さん 千金周一さん 前田清吉さん
松本啓介さん

9/9 鳥取中央 RC 宮崎正彦さん 森下泰年さん
大谷芳徳さん

***スマイル報告** (本日 7,000 円 累計 101,000 円)
小林弘尚さん 9月8日の山陰海岸清掃。残暑厳しい中、参加の会員の皆様へ感謝。美しいこの財産を次の世代にバトンタッチすることが今に生きる我々世代の大切な使命です。

松本啓介さん 山陰海岸ジオパーク清掃に参加しました。猛暑の中でしたが、終わった後で皆で食べた、かき氷が美味しかったです。

前田清吉さん ジオパーク一斉清掃に参加された皆様、お疲れ様でした。本当に暑かったですね。

福田 収さん 砂丘の一斉清掃に参加の皆様、暑い中お疲れ様でした。私は当日ドタキャンしてしまい、申し訳ありませんでした。

早退 3件

***2大御祝** (本日 4,000 円 累計 30,000 円)

中嶋司耕さん } 誕生日
大谷芳徳さん }

卓話

「鳥取の震災」

入江宏一さん

石尾さんの逝去に鑑み、昭和52年に当クラブの週報を作られたことが、思い出されます。

さて、昭和18年9月10日午後5時36分、鳥取市を中心にM7.4、震度6の地震が発生し、死者1,210人、重軽傷者4,138人、家屋全壊1万3千戸。ちょうど夕食準備の時でもあり、市内十数か所から同時に火災も発生、地震と火災とで被害が増しました。

中学3年生(旧制)の私は、32km離れた山奥の町(智頭町)から汽車通学をしていましたが、その日は放課後、銃剣術(当時、太平洋戦争も激しさを増していました)の練習を終えて、終列車に乗るため鳥取駅に向かう途中、突然激しい揺れに襲われ、歩くことも立つことも出来ず、その場に座り込んでしまいました。次々に家が倒れ土煙が上がって、視界が見えなくなりました。土煙が治まると道路は瓦礫の山。不思議にも私はかすり傷1つありませんでした。そのうちガスの臭いで息苦しくなり、死ぬかもしれないと思いながら駅に向かって走り続けました。駅に着き、死の恐怖から解放されて、ぼんやりと倒壊した街、右往左往す

る人たちを眺めていると、広場には徐々に汽車通勤者が集まってきました。1時間程度経った頃、広場に集まった群れは三々五々線路つたいに歩き始めました。

「家まで8里(32km)、一時間1里(4km)歩いて8時間、途中休んでも翌朝までには帰り着くだろう」と考え、市内各所から上がる火の手を見ながら群れに混じり鳥取を離れました。10kmくらいで群れは半数、20km地点では僅か3人となり、道端の草叢で仮眠をとっていると、自転車の救援隊に起こされ、再び歩き始めました。25km過ぎた頃には夜は明けましたが、もう誰もいなくなり、疲れた体で歩き続け、午前7時、家族の驚きと喜びの声に迎えられ、一生に一度の12時間の夜間徘徊でした。

「友達の事」

竹田達夫さん

ここで、友達とはK君のことである。彼とは、鳥取西高校で3年間同じクラスで同級生として過ごした。彼は昭和12年12月23日、吉方町に生まれた。賀露小学校、北中学校、鳥取西高校と進み、明治大学仏文科を卒業した。その後、毎日新聞社の北陽(現)日広告会社に勤務した。昭和56年に一広という広告会社を設立した。(彼の母親は宝生流の謡い手でありこの名前をつけた)

昭和28年入学時には普通科、商業科および家庭科の3学科であったが、昭和32年から学区制が廃止され、商業科は独立した。われわれは昭和28年に入学し、当時9クラスがあったが、1年1組は男子生徒のみであり、西尾 優先生(後に鳥取市長を務められた)が担任であった。

彼は当時卓球部に属し、その活躍は目覚ましいもので、北海道の札幌で行われた全国大会ではダブルスで7位、個人戦36位という輝かしいものであった。相撲は卒業して後に日大に入った別のK君が学生横綱、S君が関西学生横綱を張ることとなった。年中行事の一つとして校内マラソン大会が駅伝の選手選を兼ねて行われた。各学年毎に大手橋からスタートして、お堀端を北上し、営林署のある所から国道9号線に出て、当時、丸山の三叉路を左折して八千代橋を渡り、これをまた左折して千代川の土手を千代橋まで走り、行徳からロータリー、智頭街道から裁判所、久松小学校から校庭へとなだれ込んだ。

(その他、運動会、人助けの献血、就学旅行に関する、逸話等について話された。)

最後に、同窓会活動のことであります。私どもの同窓会は「七期会」または「華の七期」と言われ、K君が幹事として献身的に盛り上げて頂き、常に百名を越す同窓会で盛り上がった。K君には感謝している。

(担当 野田英明)